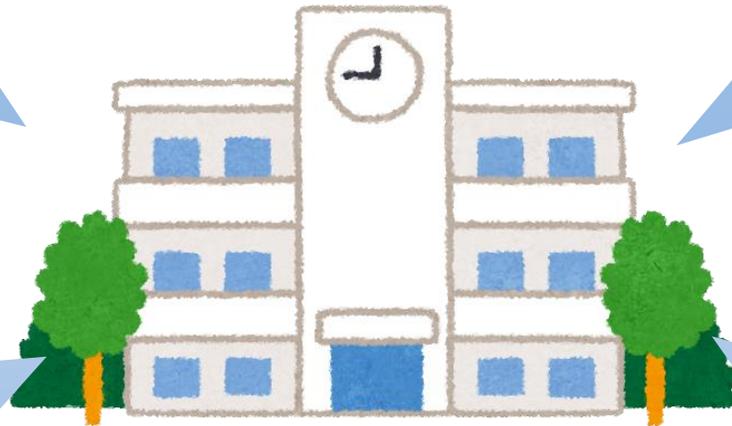


SWPBSの理念を用いた  
生徒会活動の取組  
～教師のまなざしが未来を創る～

# SWPBSを取り入れるきっかけ

①全国学力学習状況調査の質問紙で、「自分には良いところがある」と答えている生徒がここ数年を見ても全国や県の平均よりも低い傾向にあった。

②ボイスシャワー（声かけ）を心がけてはいるが、それだけでは自己肯定感を高めることにあまり改善が見られなかった。



③自己肯定感を高めるためには、ほめられるだけではなく、自分で決めて行動し、責任を持つといった「主体性」の育成が必要なのではないかと考えた。

④そこで、**生徒会活動にポジティブな行動支援の理念を取り入れ、手立ての改善を行うことにより主体性を育て、自己肯定感を高めることにつながると考えた。**

# 生徒会担当教師の思い

- 主担当の教師の負担が大きく、教師全体で取り組むことができていない。教師自身の個性を生かした活動やアイデアなど、考えていることがあっても力を発揮しにくい。
- 生徒は、決まった報告が多く、専門委員会として何か「活動」していることが少ない。放課後に委員会が開催され、参加する生徒も代表の1名のみと、モチベーションが高まらず、意見の共有や各委員会で何か活動をしていこうという環境が作りにくい。
- 教師も生徒も委員会活動が楽しく、充実感がある前向きに取り組むことができる活動にしていきたい。



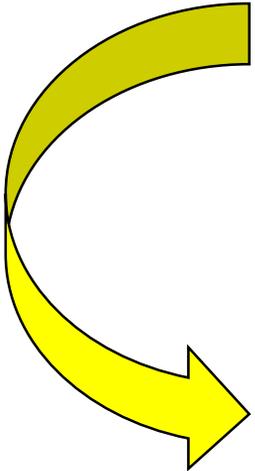
# 抱えていた委員会活動の課題

## 抱えていた課題

- 教師・生徒ともにやっていて「おもしろくない」
- 担当制「今月当たってるわあ」「いややなあ」「めんどくさいなあ」
- 放課後に実施「したいことができない」「早く部活に行きたい」

## 目指す委員会活動

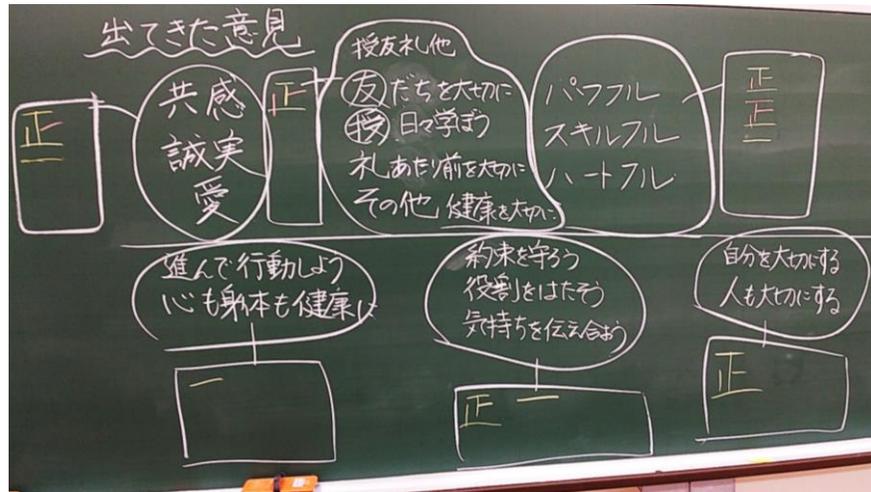
- 生徒が主体的に委員会活動に取り組んでほしい
- 生徒が学校のために考えて行動できる委員会活動にしたい
- 教師も生徒もポジティブに委員会活動を行えるようにしたい



委員会活動にポジティブな行動支援の考え方を取り入れる

# 令和3年度の取組

## ポジティブ行動マトリクス作成



- ・PBSについての研修
- ・要請訪問（総合教育センター）
- ・コンサルテーション



- ・ポジティブ行動支援マトリクス作成
- ・生徒会役員主体

# 令和3年度の取組

## ポジティブ行動マトリクス完成

- 生徒達の「将来の姿」に関する教職員の想いを共有し、「3つの大切」（黄色部分）と「指導場面」（水色部分）を決定。
- 生徒会が主体となって、中身を考えた。「パワフル」「スキルフル」「ハートフル」の3つの班に分かれ、それぞれの場面で、自分たちの学校をよりよくするために、どのような行動ができると良いか考えた。

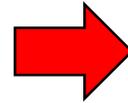
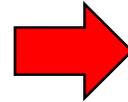
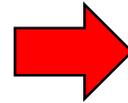
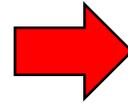
### 何事にも挑戦!PSHを中心に進化するA中!

	パワフル	スキルフル	ハートフル
登下校	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から相手に聞こえる声であいさつをしよう。</li> <li>早寝早起きして、余裕を持って学校に来よう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左側を一路通行しよう。</li> <li>まっすぐ登下校しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道を譲ってくれた車に会釈しよう。</li> <li>歩行者のために道を空けよう。</li> </ul>
授業中	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に手を挙げて発表しよう。</li> <li>わからないときでも、くじけず、ねばり強く、学習しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集中して人の意見を聞こう。</li> <li>自分なりにノートを工夫して作ろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うなづいたり、拍手したりして発表しやすい雰囲気を作ろう。</li> <li>プリントを配られたときは感謝の言葉を伝えよう。</li> </ul>
休み時間 (給食も含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>素早く、次の授業の準備をしよう。</li> <li>換気をして、教室環境を良くしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一分前着席を心がけよう。</li> <li>次の授業に向けて、予習・復習をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の目を見て話そう。</li> <li>人が通りやすいように、ドアや道をあけよう。</li> </ul>
清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間いっぱい清掃をしよう。</li> <li>どの分担でも精一杯やり遂げよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1カ所でも多く、汚れやゴミを取り除こう。</li> <li>グループで協力しながら効率よく掃除をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の分担が終わったら、他の人のことを手伝おう。</li> <li>道具を大切にしよう。</li> </ul>
部活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>体調管理をしっかりしよう。</li> <li>「ドンマイ」や「ファイト」など励ましたり、元気づけたりする声をかけよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前向きにコツコツと努力し、技術を向上させよう。</li> <li>アドバイスをしっかり受け入れよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おつかれ」「次一緒にがんばろう」「上手。」など誰にでも前向きな声をかけよう。</li> <li>準備や片付けを進んで手伝おう。</li> </ul>

# 委員会活動の改革

## 令和3年度の取組

- ・放課後に実施
- ・輪番制の担当者のみ参加
- ・専門委員会7つ+生徒会本部
- ・決められた活動



## 令和4年度の取組

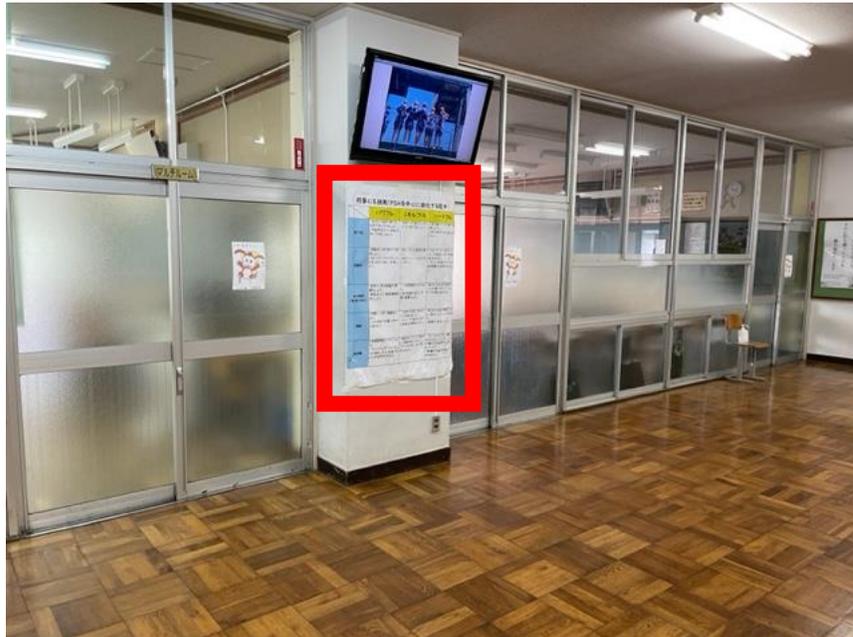
- ・月1回総合的な学習の時間に実施
- ・全校生徒が参加
- ・専門委員会9つ+生徒会本部
- ・わくわく活動+それに向けての準備や計画



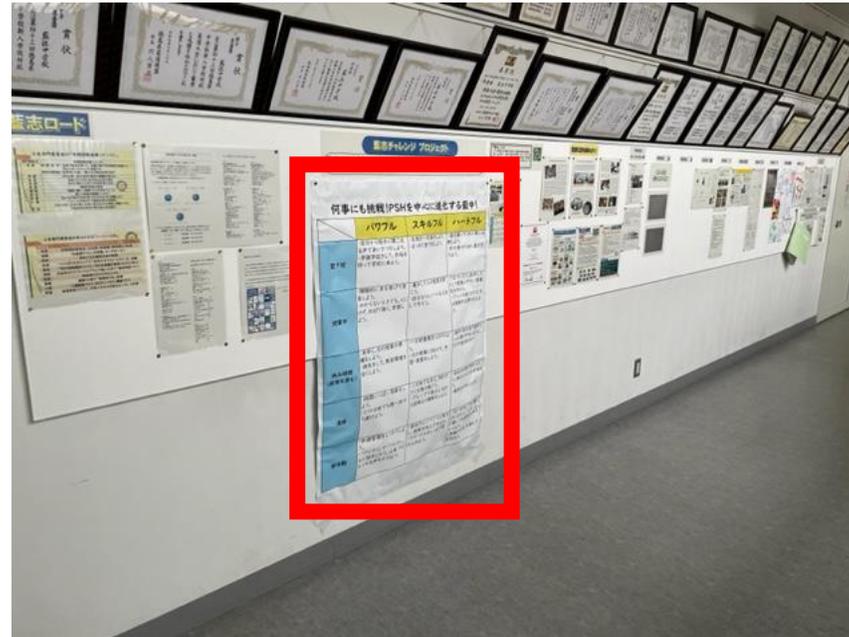
# 令和4年度の取組

## 学校環境

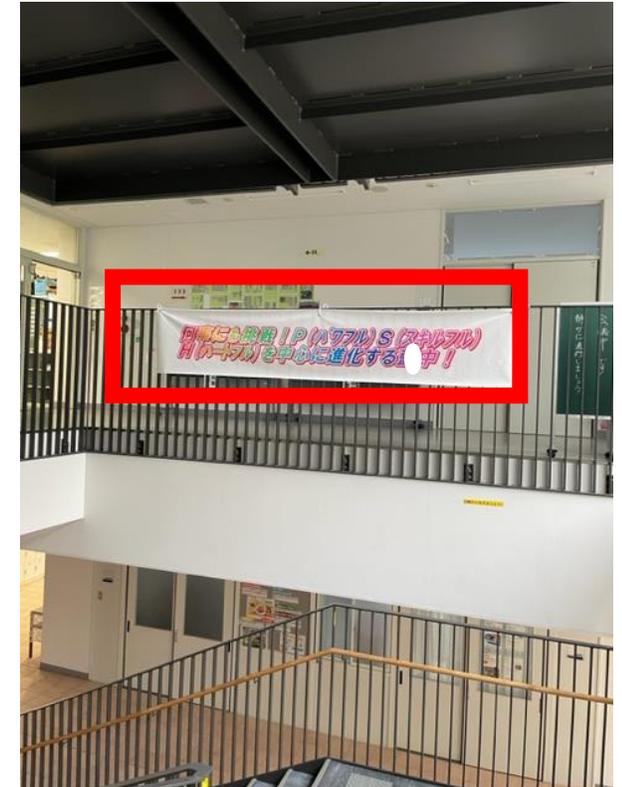
- 職員室前, 各ワークルームにポジティブ行動マトリクスを掲示
- 校内2箇所PBS旗を設置「何事にも挑戦!P(パワフル)S(スキルフル)H(ハートフル)を中心に進化するA中!」



↑ワークルーム  
(マトリクス)



↑職員室前  
(マトリクス)



階段  
(PBS旗) →

# アドバイザーからの助言

わくわく活動の  
目標をマトリクス  
に位置付ける。



抽象的な目標から  
具体的な行動目  
標におろしていく

# 令和4年度の進化

## ポジティブ行動マトリクスに各委員会活動の目標をリンクする

本部役員会(校則検討)	生徒や教師が安心し、笑顔で過ごせる学校を目指して、時代に合ったきまりを検討する (ハートフル)
本部役員会(学校行事検討)	他学年と交流して新たな方程式を作り出す(スキルフル, ハートフル)
保健委員会	自分自身と相手の健康を考える(パワフル, ハートフル)
体育委員会	体づくりの機会をみんなに与える(パワフル)
生活委員会	当たり前のことのできるA中生に(スキルフル, ハートフル)
安全委員会	地域の安全と防災(スキルフル, ハートフル)
環境委員会	地球に優しい環境づくりを考えていこう(ハートフル)
給食委員会	楽しい給食の時間にしよう(ハートフル)
図書委員会	みんなが好きな本を見つけられるように活動しよう(ハートフル)
人権委員会	一人一人が安心して意見が言える(ハートフル)
学習委員会	学習意欲を高めて学力向上を目指す(スキルフル, ハートフル)

# 各専門委員会のわくわく活動を具体的な行動目標に

本部役員会(校則検討)	生徒並びに地域の声インタビューの実施。結果をもとに、校則改定の要望を行う
本部役員会(学校行事検討)	生徒会レク大会開催
保健委員会	睡眠の効果を調べ、「全校お昼寝タイム(仮名)」の実施計画書を作成して、学校側と協議を行う。実現すれば、アンケート等でA中生に対するお昼寝の効果を検証する。
体育委員会	学年ごとの球技大会の実現
生活委員会	ペットボトルキャップで「世界の子どもにワクチンを」活動
安全委員会	「町の安全箇所マップ」「子どもの目線の防災マップ」づくり
環境委員会	除草作業で集めた雑草を利用した堆肥, 落ち葉を利用した腐葉土づくりや校内の清掃活動
給食委員会	毎日の給食時間の放送, パン・牛乳の残食調査をし, クラスごとに掲示物を作成, 調理員さんへのお手紙の作成
図書委員会	読みたい本のアンケート実施。おすすめ本のPOP&ポスター作成。おすすめの本を紹介しようの放送(予定)。「図書室を利用しやすくしよう」のポスター作成。
人権委員会	人権啓発動画の作成
学習委員会	給食時に学習についての放送, ワークルームにクイズを掲示, 1分前着席, 家庭学習の手引きの作成

# 各専門委員会のわくわく活動を具体的な行動目標に

本部役員会(校則検討)	生徒並びに地域の声インタビューの実施。結果をもとに、校則改定の要望を行う
本部役員会(学校行事検討)	生徒会レク大会開催
保健委員会	睡眠の効果を調べ、「全校お昼寝タイム(仮名)」の実施計画書を作成して、学校側と協議を行う。実現すれば、アンケート等でA中生に対するお昼寝の効果を検証する。
体育委員会	学年ごとの球技大会の実現
生活委員会	ペットボトルキャップで「世界の子どもにワクチンを」活動
安全委員会	「町の安全箇所マップ」「子どもの目線の防災マップ」づくり
環境委員会	除草作業で集めた雑草を利用した堆肥, 落ち葉を利用した腐葉土づくりや校内の清掃活動
給食委員会	毎日の給食時間の放送, パン・牛乳の残食調査をし, クラスごとに掲示物を作成, 調理員さんへのお手紙の作成
図書委員会	読みたい本のアンケート実施。おすすめ本のPOP&ポスター作成。おすすめの本を紹介しようの放送(予定)。「図書室を利用しやすくしよう」のポスター作成。
人権委員会	人権啓発動画の作成
学習委員会	給食時に学習についての放送, ワークルームにクイズを掲示, 1分前着席, 家庭学習の手引きの作成

# 取組①

## □ 学習委員会「1分前着席」(ポジティブ行動マトリクスより)

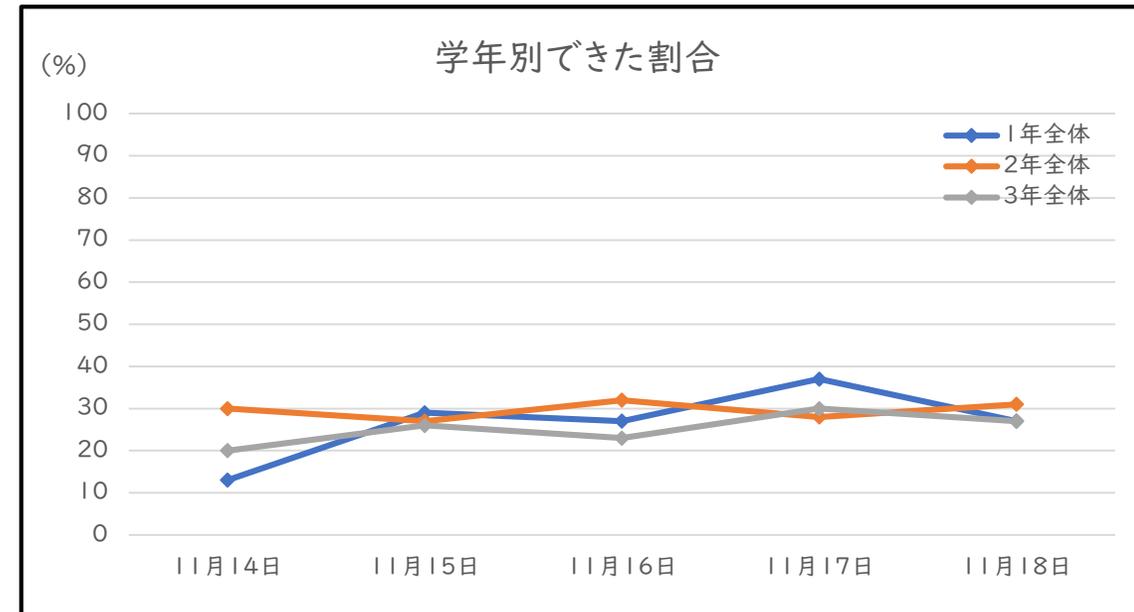
第1回(11月実施)

<手立て>

- ・各教室にポスターを掲示
- ・事前に放送でお知らせ
- ・学習委員会のメンバーが1分前に着席できている生徒を記録

<結果>

- ・約30%の生徒ができていた。



# 取組①

- 学習委員会「1分前着席」(ポジティブ行動マトリクスより)  
手立ての改善

行動の前

- 教室前に掲示物
- 金曜日に放送
- 具体的指示なし

行動

授業の1分前に  
着席する

行動の後

- できた人の計数
- 称賛なし
- 達成感なし

第1回手立て

行動の前

- 給食放送で呼びかけ
- 各クラスで呼びかけ
- ポスター掲示
- 達成目標の提示
- 教師全体で目標共有

行動

授業の1分前に  
着席する

行動の後

- できた人の計数
- 目標を達成できたクラスの表彰
- 教師からの称賛

第2回手立て

# 取組①

## □ 学習委員会「1分前着席」(ポジティブ行動マトリクス)

第2回(2月実施)

<追加した手立て>

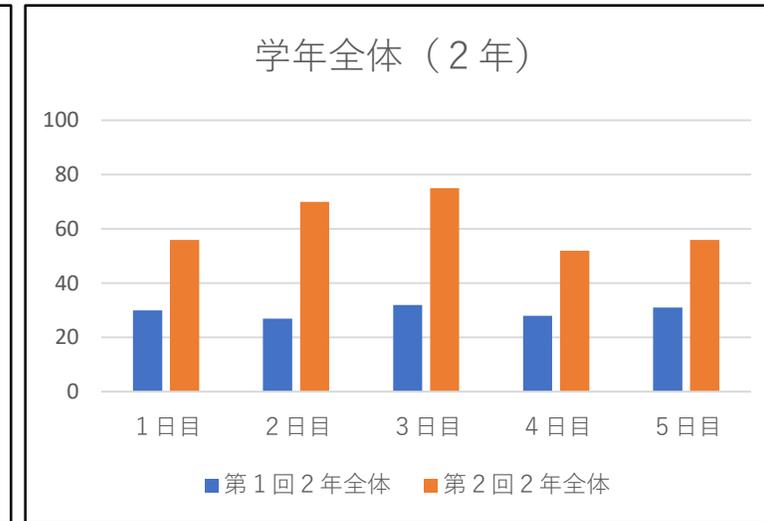
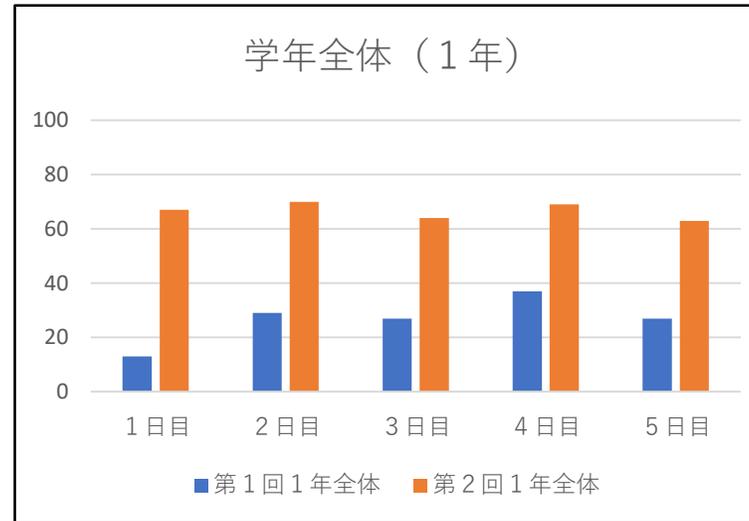
- ・給食放送で毎日呼びかけ
- ・教員全体で目標共有
- ・達成目標の明確化
- ・目標数達成学級に賞状授与

<結果>

- ・約60%の生徒ができていた。

<考察>

- ・第1回から約2倍の生徒ができるようになった。生徒ができるようになるための手立てを計画したり,教員間で共有したりすることで成果があがったと考えられる。
- ・行動の前と後に1分前着席がしやすい環境を整えたり,「やってみよう」と思う工夫を取り入れたことで成果があがったと考えられる。
- ・課題は学級間で実態差や温度差があること。



# 取組②

## □ 本部役員会「校則検討班」

わくわく活動：生徒や教師が安心して、笑顔で過ごせる学校を目指して、時代に合ったきまりを検討する（ハートフル）

意見発散

意見集約

準備

アンケート  
実施

校則検討  
要望会

- ・ブレインストーミング
- ・自由に意見を集める

- ・KJ法
- ・5つに絞る
  - 「整髪料」
  - 「ツブロック」
  - 「靴・靴紐の色」
  - 「他学年フロア移動」
  - 「休み時間の運動場利用」

- ・アンケート
  - 「いつ」
  - 「どこで」
  - 「誰に」
  - 「どのように」
- ・準備物

- ・校外（地域の声）
- ・校内（全校生徒）
- ・教職員
- ・保護者

- ・管理職
- ・養護教諭
- ・生徒指導主事
- ・校則検討委員会生徒

# 取組②

## □ 校則検討を考える時の行動分析

### 行動の前

- ・思いを発言できる機会がある
- ・わくわく活動企画
- ・自分たちで作る機会あり



### 行動

よりよい学校にするための校則改正を行う



### 行動の後

- ・意見を否定されずに受け入れられる
- ・教師からの称賛  
「その意見いいね」
- ・計画したことが実行できる
- ・いろんな意見を聞くことができる(地域・保護者など)
- ・達成感, 責任感↑
- ・学校が変わる!

# 取組②

## □ 本部役員会「校則検討班」

### 大型ショッピングモールでのアンケートの様子

校則改正に向けて  
ご意見お聞かせください!



目指すは  
「地域とともにある学校づくり」  
理由を丁寧に説明します。



「賛成」「反対」  
「どちらとも言えない」で  
ご回答ください!



# 生徒たちの声

## 【校内の生徒】

- ・校則が変わることで、より過ごしやすい学校になる
- ・自分たちの意見で学校が変わっていくのが嬉しい

## 【校則検討班生徒】

- ・要望が改正につながってよかった
- ・これからどう生活していくかが大事となる



# 教師たちの声

- 校則は決まっています変えられないものではなく、自分たちでより良い在り方に変えていけるものという意識の醸成
- 生徒からの意見が、生徒のみならず、教職員や保護者、地域の方など様々な立場の人の考えを基にした要望内容であり、とても感心した
- 校則について、生徒と教職員が共に考えることで、お互いに安心感を感じられる学校生活につながるように思う



# 取組③

## □ 本部役員会「学校行事班」

わくわく活動：他学年と交流して新たな方程式を作り出す（スキルフル, ハートフル）

意見発散

意見集約

準備

実施

振り返り

- ・ブレインストーミング
- ・自由に意見を集める

- ・KJ法
- ・学校全体で
- ・縦割り
- ・異学年交流

- ・場所
- ・日時
- ・準備物
- ・3年生主体行事
- ・2年生主体行事

- ・5, 6時間目
- ・縦割り班〇組
- ・自己紹介
- ・カウントダウンゲーム
- ・人間指スマ
- ・校内謎解き

- ・アンケート
- ・成果と課題
- ・次年度に向けて

# 取組③

## □ 学校行事を考える時の行動分析

### 行動の前

- ・思いを発言できる機会がある
- ・わくわく活動企画
- ・自分たちで作る機会あり



### 行動

学校全体で縦割りの行事を行う



### 行動の後

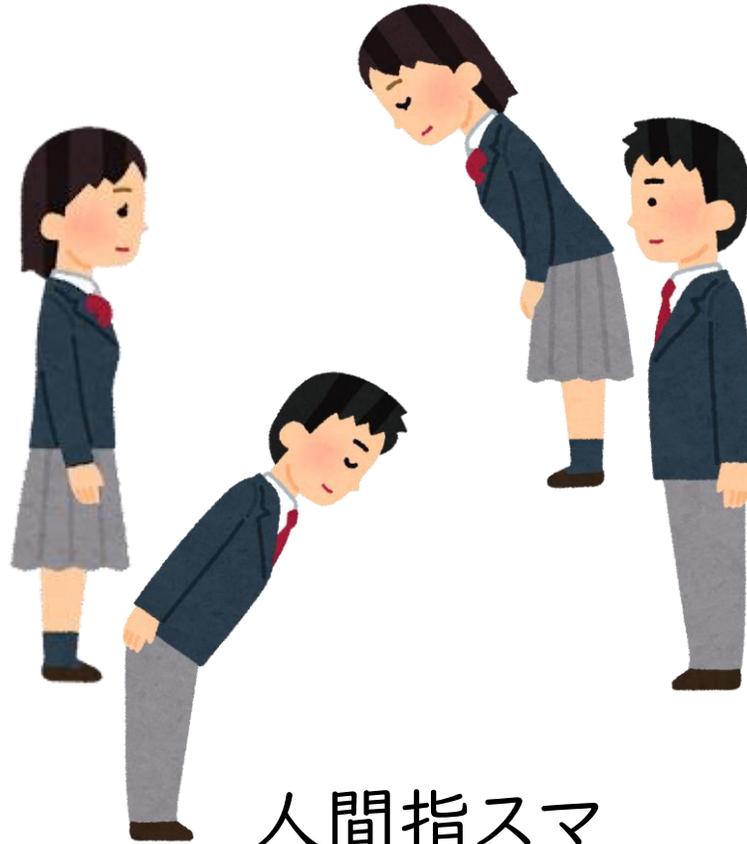
- ・意見を否定されずに受け入れられる
- ・教師からの称賛  
「その意見いいね」
- ・計画したことができる
- ・達成感
- ・生徒達の楽しそうな笑顔
- ・生徒からの承認↑

# 取組③

- 本部役員会「学校行事班」  
学校行事当日の様子



自己紹介



人間指スマ



校内謎解き

# 生徒たちの声

## 【参加生徒】

- 楽しかった。生徒会の人たちありがとう。また、やってみたい。
- 他の学年の人とも、交流できてよかった。

## 【学校行事班生徒】

- 実際に自分たちで大会を運営して、ルールが伝わらなかったり、時間配分もうまくできなかったりしたけれど、達成感があった。
- 多くの生徒から拍手をしてもらえてうれしかった。この経験を今後に活かせると思う。

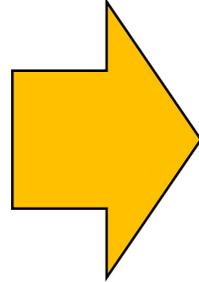


# 成功のポイント

昨年度まで

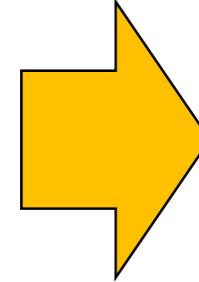
## 行動の前

- ・決められた活動
- ・放課後
- ・輪番制



## 行動

委員会活動を行う



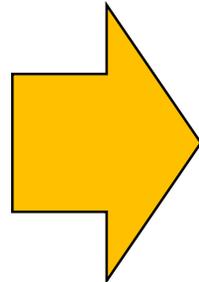
## 行動の後

- ・「面白くない」
- ・「嫌だ」
- ・実感なし
- ・やらされ感がある

今年度

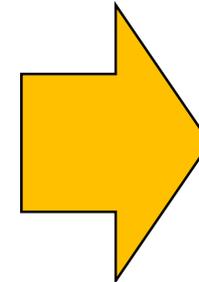
## 行動の前

- ・自分たちで活動を作れる
- ・授業に位置づけ
- ・全員参加
- ・意見を言える場



## 行動

委員会活動を行う



## 行動の後

- ・楽しい
- ・達成感, 充実感
- ・教師からの称賛
- ・仲間からの注目
- ・学校が変わる!

# 成功のポイントと今後について

## □成功のポイント

- 生徒の望ましい行動をどうすれば引き出せるか、教師が考え行動できたこと
- 生徒達が主体的に行動できるようにし、教師が最大限生徒の行動を尊重し、生徒が達成感を感じられるように支援・指導したこと
- 教師にとっても生徒が生き生きと活動する姿を見ることで前向きに取り組むことができた

## □今後について

- ポジティブ行動支援マトリクスの3つの観点を具体的にイメージできるように、副題をつけるか検討
- A中学校の委員会活動は始まったばかり。今年度の取組を「A中委員会1.00」として、今年度だけで終わるのではなく、担当が変わっていても今後「1.01」「2.00」とバージョンアップを繰り返していきたい

